

伴走型支援について考える研修会

～身寄りのない人を地域で支えるためにできることは!?～

1. 目的

少子高齢化や核家族化、それに伴う地域のつながりの希薄化により、社会的孤立が問題となっています。社会的孤立は、適切な機関・制度へつながらない、あるいは対処が遅れ、つながったとしても問題が深刻化しているというリスクが生じるなど、社会的課題となっています。

その背景には「自己責任論」や「家族機能の脆弱化」、時には自身が困っていることに気づけないことや、「助けて」が言いづらい社会環境が推測されます。

果たして、私たち社協は、「家族機能を失い、地域から孤立した人々」とどのように向き合い、地域にどのように働きかけ、地域と共に社会的孤立問題に立ち向かっていけば良いのでしょうか。

今回の研修では、NPO 法人抱樸の方を講師に招き、社会的孤立問題に対応する上で不可欠な「伴走型支援」の役割や必要性について学び、考えたいと思います。

また、実際に他機関・他法人と連携しながら、伴走型支援を実践している社協ワーカーからの実践報告を踏まえ、どのような背景や地域のニーズがあり、身寄りのない方々を支えるための事業設立に至ったのか、また、社協として社会的孤立問題に取り組む必要性を考え、社協が取り組む伴走型支援について学ぶことを目的に本研修を開催します。

2. 日時

令和8年1月14日(水) 12:30～16:55 (受付 12:00～)

3. 会場

クローバープラザ 501 研修室

4. 対象

福岡県内社会福祉協議会職員で内容に興味のある社協職員60名程度

5. 内容

12:30～12:35 (5分)	開会、主催者挨拶、趣旨説明
12:35～12:55 (20分)	グループワーク① 「自己紹介、伴走型支援のイメージの共有、日頃の業務で感じた社会的孤立問題についての共有等」
12:55～14:25 (90分)	講 演 「伴走型支援とは？」 講師：NPO 法人抱樸理事長 奥田 知志 様
14:25～14:35 (10分)	休 憩
14:35～15:35 (60分)	報 告 「事業設立の背景や社協が社会的孤立問題に取り組む意義について」 報告者：別府市社会福祉協議会 別府市成年後見支援センター次長 山口 真寿美 様 別府市成年後見支援センター主任 矢野 裕子 様
15:35～15:40 (5分)	休 憩
15:40～16:30 (50分)	グループワーク② (講師や実践報告者の話を聞いて「伴走型支援」をどう捉えるか、社協だからこそできる「伴走型支援」とは、講師・実践報告者への質問等)
16:30～16:40 (10分)	発表
16:40～16:50 (10分)	総括 NPO 法人抱樸理事長 奥田 知志 様
16:50～16:55 (5分)	終了・解散

6. 申込方法・申込期限

令和7年12月26日(金)までに、2次元コードもしくは

URLから、Google フォームにてお申込みください

URL:<https://forms.gle/CSMWrp5CxsWB6v219>



※事前課題の提出はありませんが、当日のグループワーク①で「伴走型支援のイメージ」や「日頃の業務や日常生活を通じて感じている社会的孤立についてのエピソード、それらの方々への対応について」の共有を行う予定ですので、事前にお話しする内容を考えてきていただくようお願いいたします。

申込・問い合わせ先

大川市社会福祉協議会 野尻

嘉麻市社会福祉協議会 吉田

電話:0944-86-6556

電話:0948-43-3511

メール:nojiri@okawa-syakyou.or.jp (野尻)

yoshida@kama-shakyo.com (吉田)